

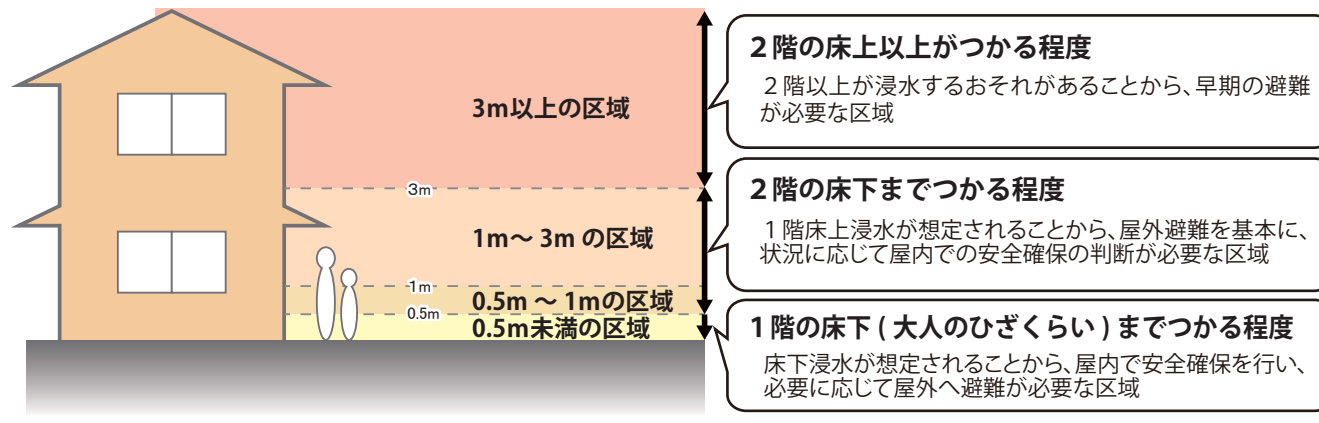
防災マップの見方・使い方

防災マップの見方について

防災マップには次の情報を示しています。

宮川内谷川洪水浸水想定区域(浸水した場合に想定される水深の深さ) ※想定最大規模降雨

宮川内谷川の洪水によって浸水した場合に想定される水深の深さと必要な行動



洪水浸水や土砂災害のおそれがある区域

吉野川洪水浸水想定区域(想定最大規模降雨)

吉野川の氾濫により想定される浸水想定区域(P3,4)の最大範囲

旧吉野川・今切川洪水浸水想定区域(想定最大規模降雨)

旧吉野川・今切川の氾濫により想定される浸水想定区域(P5,6)の最大範囲

宮川内谷川洪水浸水想定区域(計画規模降雨)

宮川内谷川の氾濫により想定される浸水想定区域(P9,10)の最大範囲

平成16年浸水実績区域

平成16年台風23号等により浸水した範囲

土砂災害警戒区域

土砂災害のおそれがある区域(破線は指定前)

避難の目的地となる施設

指定避難所 兼 指定緊急避難場所

被災者等を必要な期間滞在させるための施設及び災害から一時的、緊急的に避難する場所

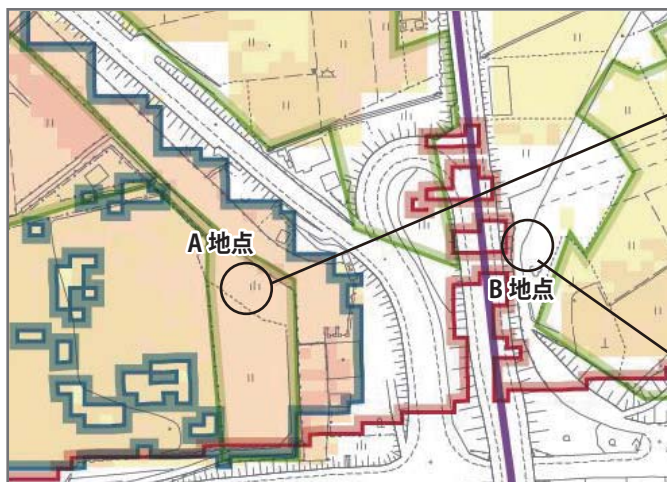
指定緊急避難場所

災害から一時的、緊急的に避難する場所

補助避難所

指定避難所が開設できない場合、補助的に利用する施設

～マップの見方の例～



A 地点

■着色あり
⇒宮川内谷川の洪水(想定最大規模降雨)により1.0～3.0mの浸水が想定されている
■枠(赤色)の内側
⇒吉野川洪水浸水想定区域(想定最大規模降雨)に含まれている
■枠(緑色)の内側
⇒平成16年の台風により浸水した実績がある

B 地点

■着色なし
⇒宮川内谷川洪水浸水想定区域(想定最大規模降雨)に含まれていない
■枠(赤色)の内側
⇒吉野川洪水浸水想定区域(想定最大規模降雨)に含まれている
■枠(緑色)の外側
⇒平成16年の台風により浸水した実績はない

防災マップの使い方について

ステップ 1

自宅の位置等を確認しましょう。

ご自宅のある場所や職場、よく行く場所が何色に塗られているか、その他の洪水や土砂災害の危険性がないかを確認しましょう。

ステップ 2

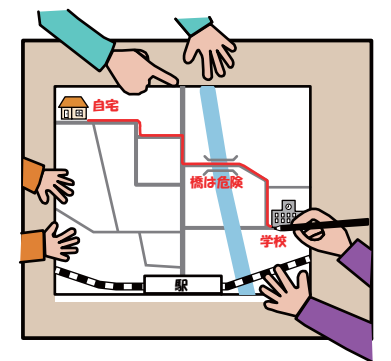
近くの避難所や避難場所を確認しましょう。

ご自宅の近くの避難所や避難場所を確認しましょう。

ステップ 3

危険箇所を避けて、避難経路を設定しましょう。

浸水が深い場所や土砂災害の危険な箇所を避けて、避難経路を設定しましょう。



ステップ 4

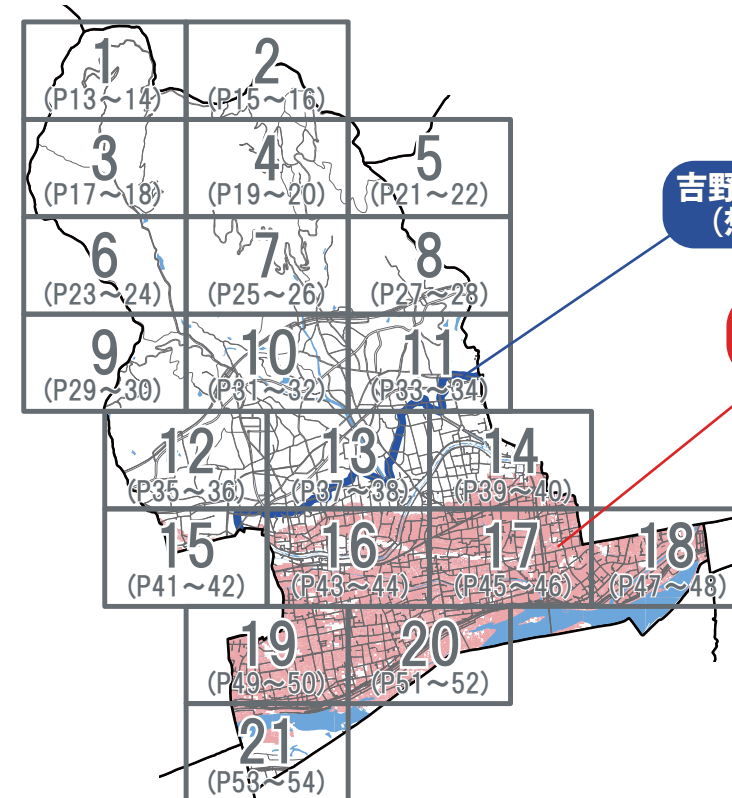
実際に避難経路を歩いてみて、安全を確認しましょう。

家族や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な場所がある場合には避難経路を見直しましょう。



索引図

下の索引図に示す番号毎に防災マップを掲載しています。浸水想定や避難所等を広い範囲で確認したい場合は、P3～10を参照してください。



吉野川洪水浸水想定区域(想定最大規模降雨)

宮川内谷川洪水浸水想定区域(想定最大規模降雨)

次頁以降の防災マップでは、宮川内谷川の想定最大規模降雨に基づく洪水浸水想定区域(浸水深)を着色で表示しています。

また、以下の洪水浸水想定区域の範囲の枠を示しています。

- 吉野川洪水浸水想定区域(想定最大規模降雨)
- 旧吉野川・今切川洪水浸水想定区域(想定最大規模降雨)
- 宮川内谷川洪水浸水想定区域(計画規模)